

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.															
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	BP.2		調査位置								北緯	36° 27' 56.7400"			
発注機関	栃木県 安足土木事務所			調査期間	2010-07-14 ~ 2010-07-15					東経	139° 30' 35.5500"				
調査業者名				主任技師			現場代理人			コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	221.34 m	角度			方			地盤勾配			使用機種	試錐機		ハンマー 落下用具	
総掘進長	9.00 m						エンジン			ポンプ					

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度 試験番号	室内試験 採取方法	掘進月日
										深度 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値					
			表土 (SF)		黒	密な		有機質火山灰土による。上部30cm間、木根を混入する。土は含水・粘性共にやや高く、軟らかい。GL-1.0m以深、2-20mmの礫を混入する。	07/14 0.50	1.15	1	15	4	35				
	219.84	1.50	1.50	砂礫 (GS)	暗灰			礫は 5-10mmの角礫を主体に最大 50mm内外を点在する。マトリックスは細粒土分と微量の砂分で構成され、礫間を緩く充填する。		1.50	2	1	15	35				
	218.89	0.95	2.45	粘土質砂礫 (GSC)	暗茶褐	緩い		GL-2.5-3.5m間、粘土分の優勢区間となり、礫混り粘土状を呈す。礫は 5-20mmの角礫を主体に最大 30mm前後を含む。礫間充填物は細・中砂分と多量の粘土分から成り、ややルーズに充填している。局所的に砂分の帯状・塊状含有が見られる。		2.15	16	8	8	32	30			
										2.45								
										3.15	4	3	2	9	30			
										3.45	7	8	8	23	30			
										4.15								
										4.45								
										5.15	6	8	7	21	30			
	215.64	3.25	5.70	風化岩 (砂岩) (WR)	暗褐灰			メタルクラウンビット(土砂用刃先)で掘進可能。 風化・変質が岩体内部まで至り、コアは固結した砂質粘土状で採取される。 部分的に 10mm内外の岩片を認める。		5.45								
										6.15	10	10	11	31	30			
										6.45								
										7.15	11	12	14	37	30			
										7.45								
										8.15	11	10	12	33	30			
										8.45								
										9.15								
	211.89	3.75	9.45							9.45	11	12	11	34	30			